

## NEWS RELEASE



&lt;報道関係各位&gt;

2007年6月

～ 親子の一生の思い出作り、次世代の子どもたちへ残す森づくりのため ～

全国から84人の赤ちゃんが参加

**第21回ピジョン赤ちゃん誕生記念 植樹式**

5月26日(土) ピジョン美和の森にて 実施

ピジョン株式会社(本社:東京、社長:大越 昭夫)は、5月26日(土)、茨城県常陸大宮市にて「第21回ピジョン赤ちゃん誕生記念植樹式」を実施しました。当日は、ピジョン株式会社取締役最高顧問の仲田洋一をはじめ、常陸大宮市長代理の収入役などの代表者が、くわ入れを行い、植樹者代表として、地元を含む全国から84人の赤ちゃんとそのご家族およそ400人が参加、お誕生を記念してナラやクヌギなど広葉樹の苗木を植樹しました。

会場内のログハウスでは、「育ち応援シューズの体験コーナー」や、木製ハガキにメッセージを書いたり、手形を押して投函できる「森から贈る最初の手紙コーナー」、植樹風景を撮影して写真をプリントするなど、参加者に大変好評でした。ログハウスには参加者のお名前を記載した木のアルバムを常設しております。現在は、直接自由にお入りいただくことができませんが(※)、今後は訪れる方の休憩所としてお使いいただける場としていきたいと考えております。

※美和木材協同組合に事前にお立ち寄りください。

「ピジョン赤ちゃん誕生記念植樹式」は赤ちゃんを育てること(育児)と木を育てること(育樹)が、どちらも周囲の人達の暖かい愛情に守られて成人(成木)になっていく、相通じるものであるという考えに基づき、1987年にスタートし、今年で21回を迎えました。

赤ちゃんを生き育てるといふ感動と喜びを、より多くの方々と共に共有するとともに、次世代の子どもたちのために残す森づくりや、自然が永続的に守られていくための環境づくりに貢献していきたいという考えのもと、昨年までの20回までは国有林にて、茨城森林管理署、常陸大宮市役所、美和木材協同組合、地元自治会等の協力を得ながら毎年実施してきました。21年目を迎えた2007年までに全国から8万人以上もの赤ちゃんが参加し、植えた木は8万本、総面積は東京ドーム6個分を上回る広さになっています。

ピジョンでは、育児の大切さとともに森林保護の大切さを広めていくため、今後も「ピジョン赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン」を継続していきます。次回の同キャンペーンは、2007年1月1日から2008年2月29日までに生まれる赤ちゃんを対象に、2008年1月頃に参加者を募る予定です。



▲ 植樹者代表 石川いずみちゃんとそのご家族（千葉県在住）

#### ■ ピジョン美和の森第21植樹地の今後

国有林の契約が終了した今年から植樹を実施する「ピジョン美和の森」は、面積90ha（90万㎡）です。ピジョンは、この場所にて新たに森林づくりを始めます。森の拠点として来訪者にご利用いただけるログハウスは、皆様により親しんでいただくため、今回名称を公募しました。また、今後、家族で遊ぶことができる小川も完成、ホタルが生育できるまでに整備し、植樹をしたご家族が第2のふるさととしていつでも訪れることができる場を目指します。

森林をつくることで、地球温暖化を防ぎ、多様な生態系を維持し、高い水質保全機能を持ちながら、洪水や渇水を防止する役割をも果たしています。更に、豊かな森林と共生することは、私たちの心にもゆとりをもたらし、子どもたちに自然体験の場を与えることにもなります。